

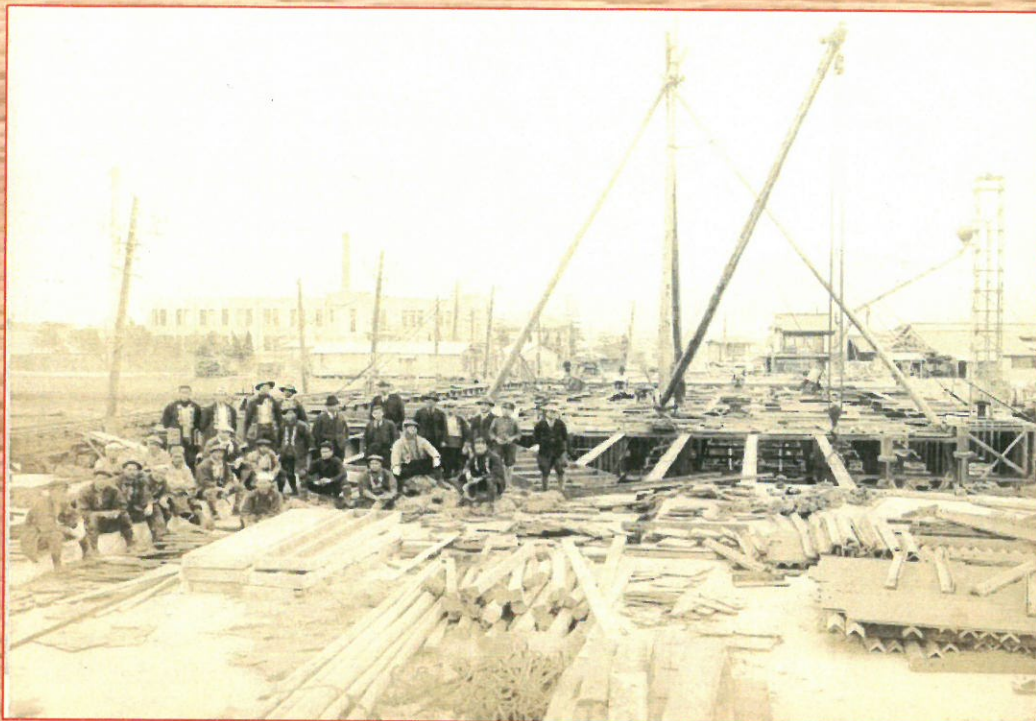
「旧アルバム」より～

昭和初期の写真⑦ 『御幸橋』

御幸橋は、1930年(昭和5年)に広島県から受注した京橋川に架かる橋長162.4mのカンチレバー式鈹桁橋です。



この画像も、社内の倉庫に保管されていた大判の紙焼き写真がもとですが、上の完成写真の右下には "6.8.8" という数字が入っていました。1931年8月8日に完成したとするなら、時系列的な辻褄は合います。



架設中のひと時



「御幸橋(昭和4年～5年施工)の製作を行っていたとき、折りしも労働争議(ストライキ)の真最中であった。部材に使用するアングルの孔を間違えてしまい、孔埋めして使おうとしたところ、組合(親方組合)から役所に言いつけるといわれ、全て新材に取り替えることになった。このため、使いようのなくなったアングルが山のように残ってしまい、これで芝浦工場のゴライアスクレーンが作られた。」

(以上、「東京鐵骨橋梁製作所70年史」資料編より抜粋)